

令和5年度病害虫発生予察情報 注意報第4号

令和5年4月28日
岩手県病害虫防除所

キンモンホソガの第1世代の羽化時期が平年より早まる見込みです。また、発生量も多い恐れがあります。 薬剤の散布時期を失しないように気を付けましょう。

1. 対象作物、病害虫：りんご、キンモンホソガ
2. 対象地域：県下全域
3. 発生量：多
4. 発生時期：第1世代羽化時期 早

5. 予報の根拠

- (1) 令和4年度の巡回調査での発生園地率は、年間を通じてやや高い～高く推移した(図1)。昨年秋期は、マイン(図2)が多数確認されたことから、本年の越冬密度は高かったと考えられる。
- (2) 4月後半の巡回調査における卵の発生園地率は県中部で高く、県北部では見られなかった(図3)。
- (3) 基準圃場(北上市成田：無防除)におけるフェロモントラップの越冬世代の誘殺は、平年より3半旬早い4月第2半旬に羽化盛期が認められた(図4)。
- (4) 有効積算温度に基づく第1世代の羽化盛期の予測から、防除適期は平年より早いと予測される(表1)。

6. 防除対策

- (1) 多発園(20果叢当たり5マイン以上の発生園)では、第1世代の羽化状況に応じて第2世代を対象とした防除を行う。前年多発園地では、本年も多発傾向にあるので、注意してマインを観察する。
- (2) 第1世代羽化時期に合わせて適期に防除する。ネオニコチノイド剤は羽化始期～羽化揃期、IGR剤は羽化始期～羽化盛期に使用すると効果が高い。羽化始期は羽化盛期の5日前、羽化揃期は羽化盛期の5日後が目安である(表1)。

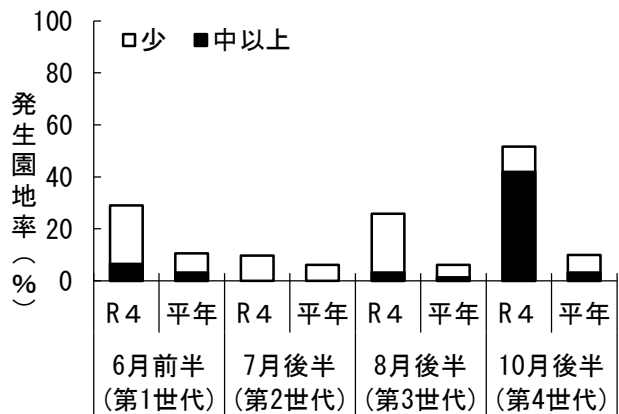


図1 令和4年度のキンモンホソガ各世代の発生園地率(発生程度の評価基準は各世代で異なる)



図2 キンモンホソガの被害葉(マイン)

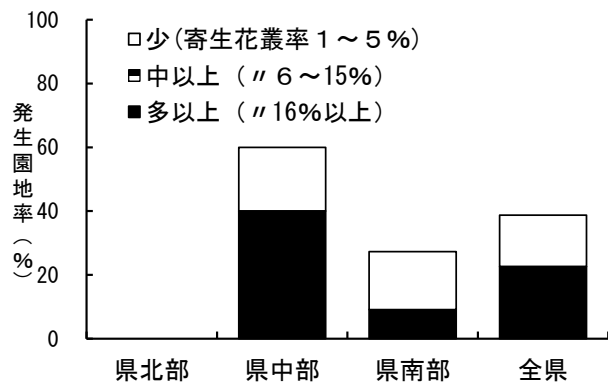


図3 キンモンホソガ卵の地域別発生園地率(4月後半)

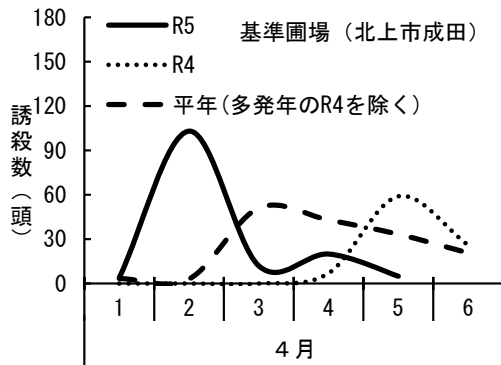


図4 基準圃場におけるキンモンホソガの誘殺状況（無防除圃：北上市成田）

表1 キンモンホソガ第1世代羽化盛期及び防除適期の予測（4月26日現在）

地点名（標高）	羽化盛期（予測）	ネコチノド剤による防除適期	羽化盛期（平年値）
盛岡（155m）	6月13日	6月8日～6月18日	6月第5半旬
北上（61m）	6月6日	6月1日～6月11日	6月第3半旬

- ※ 平年値は、平成25年から令和4年までのフェロモントラップへの誘殺盛期の平均からみた羽化盛期。
- ※ 羽化盛期は、当年の越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺盛期（北上は4月第2半旬、盛岡は4月第4半旬）を起点とし算出（平成22年防除技術情報）。
- ※ 4月25日まではアメダス現況値を、4月26日以降は平年値を利用した。
- ※ 観測地点の標高より100m増すごとに羽化盛期は3～4日遅れるので注意する。

【利用上の注意】

本資料は、令和5年4月19日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は（1）使用基準の遵守 （2）飛散防止 （3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

